

ウガンダ北東部の牧畜民ドドス社会の高齢者

生と死をめぐる高齢女性の役割に注目して

波佐間 逸博

長崎大学

Elderly people among the pastoral Dodoth in north eastern Uganda

Old women's roles in a matter of life-and-death

Itsuhiro Hazama

Nagasaki University

東アフリカ牧畜社会において年齢体系は、出自体系や複婚とともに、家畜群経営に欠かせない社会的ネットワークを築くうえで、最も重要な原理とされてきた (Spencer, 1998)。年齢体系とは、生物学的な年齢や世代間の前後関係に基づいて編成された諸カテゴリーに人びとを分類し、それぞれに特有の役割や行動規範を付随させるというものである。東アフリカ牧畜社会を対象にした人類学的研究はこれまで、長老男性への政治的、社会的権威の集中と世代間葛藤、青年期の移行儀礼や社会的実践、年齢体系の変容動態を明らかにしてきた。また、それらの社会の多くで、年齢体系は男性に特有であり、女性は結婚後に夫の年齢組へ加入することになることが判明した。年齢をめぐる社会制度は男性を中心に高度に発達しているため、東アフリカ牧畜社会の女性が年齢を重ねることの社会的な位置づけや意味の体系を焦点とした研究は、少数の重要な例外 (Kawai, 1998; 中村, 2011) を除いてほとんど存在しない。本発表では、北東ウガンダの半乾燥地、カラモジャに居住する東 Nil 系の牧畜民ドドス社会の事例にもとづき、個人のライフコースという脈絡の中で女性の「高齢」と「加齢」を理解することを目指したい。

ドドスの年齢体系は、父親の権威、出生順による息子たちの間での権利などに関連した統治の基礎となっているとされる (Thomas, 1965)。ドドスの成人男性は特定の年齢組に加わり、これらの複数の年齢組によりひとつの世代組が構成される。世代組は上から順に、引退世代、年長者世代、年少世代となっており、4、50年に一度の移行儀礼が開かれる。個人が加入する年齢組は、父の属する年齢組の世代組の内部での順序を引き継ぐ。年齢組の内部はさらに、息子たちの出生の順序と、母と父の間の結婚の順序に従って、複数の牡牛組によって下位区分される。女性は結婚後に、夫の年齢組名を女性形化した名前の年齢組の構成員となるものの、日常生活の中で形成される多様な女性集団には通常、多数の異なる年齢組の成員が含まれており、年齢体系は女性を組織する主要な原理となっていない。だが、このことは女性の加齢によるセルフの変容に、社会的な重要性が存在しないということを意味しない。

本発表では、親族関係と社会化、ホームステッドのライフ・サイクル、自身の生活史を織り込んで作る女性個人の持ち歌 (*ngimonging*)、「大切な他者」の生と死をめぐる役割遂行を記述・分析し、女性がどのようなライフ・ステージを踏んで民俗分類の上での高齢者のカテゴリーに至るかを明らかにする。そして、「ケアの互酬性」という、アフリカの高齢者をめぐる人類学研究で提起された概念に照らし、ドドスの高齢女性の対他関係を検討する。

中村香子. 2011. 『ケニア・サンプル社会における年齢体系の変容動態に関する研究—青年期にみられる集団性と個人化に注目して』 京都: 松香堂

Kawai, K. 1998. Women's age categories in a male-dominated society: The case of the Chamus of Kenya. in E. Kurimoto & S. Simonse (eds.) *Conflicts, Age and Power in North East Africa: Age System in Transition*. Oxford: James Currey, pp.147-168.

Spencer, P. 1998. *The Pastoral Continuum: The Marginalization of Tradition in East Africa*. Oxford: Clarendon Press.

Thomas, E. M. 1965. *Warrior herdsman*. New York: Alfred A. Knopf. (田中二郎・向井元子訳『遊牧の戦士たち』 思索社, 1979)